

令和6年度第1回三重県議会「議員勉強会」開催要領

■ 目的

三重県では、伊勢湾における漁場生産力向上対策の推進、科学的知見に基づく資源評価をふまえた新たな資源管理等水産業の振興に取り組み、今年度は「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」の見直しを進めています。

令和7年には三重県にて「全国豊かな海づくり大会」の開催が予定され、「伊勢湾の栄養塩類不足による黒ノリの色落ちや海水温上昇による藻場の減少など、私たちの生活が自然環境に与える影響への認識を深める」ことをその基本方針とされています。

そこで、「豊かな海づくり」に向けた課題について関係者間でどのように行動して解決していくのか等について、水産海洋学を専門とする有識者より学び、今後の県議会における議論の参考とします。

■ 日時・場所

令和6年10月3日（木）13時30分～15時00分

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

■ 講師

鈴木 輝明 氏（名城大学大学院総合学術研究科 特任教授）

1972年 京都大学農学部水産学科卒業

1974年 東北大学大学院農学研究科漁撈学専攻修士課程修了

2002年 愛知県水産試験場漁場環境研究部長

名城大学大学院総合学術研究科特任教授兼務（現在に至る）

2007年 愛知県水産試験場長

■ 演題

「豊かな伊勢湾の再生に向けて」



豊かな伊勢湾の再生に向けて

「水産王国みえ」の復活を目指す中で、伊勢湾の栄養塩類不足による黒ノリの色落ちや海水温上昇による藻場の減少など深刻な課題を抱えています。

今年度、三重県では、条例に基づく議決計画である「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」の見直しが進められており、主なポイントのひとつとして「きれいで豊かな伊勢湾」の再生に向けた取組の推進が挙げられています。

こうしたことなどから、県議会における議論をさらに深めるために必要な視点等についてお話を伺います。

すずき てるあき

講師 鈴木 輝明 氏

名城大学大学院総合学術研究科
特任教授



- 1972年 京都大学農学部水産学科卒業
- 1974年 東北大学大学院農学研究科漁撈学専攻修士課程修了
- 2002年 愛知県水産試験場漁場環境研究部長
名城大学大学院総合学術研究科特任教授兼務
(現在に至る)
- 2007年 愛知県水産試験場長

名古屋市生まれ、名城大学大学院総合学術研究科特任教授、農学博士。国土交通省中部地方整備局伊勢湾再生海域検討会、同三河湾部会、愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会、矢作川流域圏懇談会の委員等を務める。

著書に「水産の21世紀 海から拓く食料自給」(分担執筆 京都大学学術出版会、2010)、「環境配慮・地域特性を生かした干潟造成法」(分担執筆 恒星社厚生閣、2007) など

2024/10/3 (木) 13:30~15:00

場所：三重県議会議事堂3階 全員協議会室

問合せ先：三重県議会事務局企画法務課 西川

TEL 059-224-2879 FAX 059-229-1931 mail : gikaik@pref.mie.lg.jp